

会員団体募集中!

一社会人馬術部から馬を通じた社会貢献を一

◆ メーカー・機械・建設・運輸

パナソニック馬術部
パナソニックシステム
ネットワークス馬術部
レックス工業馬術部
JR東日本馬術クラブ
ソニー馬術部
青波馬術愛好会
(住友重機械工業)
梅村建工馬術部
日本航空馬術部
クリエイティブ
テクノロジー
乗馬愛好部

◆ 情報・通信

TOPPANエッジ馬術部
日本IBM馬術部
富士通馬術部
グーグル馬術部
LINEヤフー乗馬部
三菱総合研究所馬術部

◆ 公社・官公庁・団体

警視庁馬術クラブ
皇宮警察本部
衆議院乗馬会
都庁・特別区乗馬部
防衛省乗馬同好会
TMG乗馬同好会
日本知的財産協会馬術部
新潟市馬術協会社会人愛馬会

◆ 金融・商社

伊藤忠商事相互会乗馬部
SOMPOホールディングス馬術部
三井物産乗馬部
山田コンサルティンググループ乗馬同好会
オリックス乗馬部

◆ リテール・サービス

昭和医科大学ライディングチーム
日本馬事普及馬事研究部
中部国際空港馬術部
日本電気保安協会馬術部

関連会社社員も入部できる場合があります
(例) NTT馬術部にはNTTドコモなど
グループ会社の社員も入部できます

※ 正式な団体名称は下部加盟団体をご覧ください

会社に馬術部がない場合、新たに馬術部を設立して社馬連へ加盟できます

企業・官公庁の馬術部が集まる日本社会人団体馬術連盟です

こんなにある!
社馬連のメリット

- 連盟主催の競技会や講習会、資格審査会などに参加可能
- 提携乗馬クラブや乗馬用品ショップでの割引などの特典
- 貸与馬にてリーズナブルに競技会に出場できます
- 異業種他社の会員の方々と交流できます
- 馬事に関する社会貢献活動などに参加できます

CHECK!



学生の皆様へ、OB/OG訪問、会社紹介、馬術部設立アドバイス、
個別お問い合わせは <https://jbg.jp/univ> へ!



一般社団法人

日本社会人団体馬術連盟

Japan Business Group Equestrian Federation

日本社会人団体馬術連盟(社馬連/JBG)は日本馬術連盟の組成団体の1つとして
スポーツ馬術を通じた企業の社会貢献と乗馬の普及・馬事の振興を目指しています

Homepage



Facebook



X (Twitter)



Instagram



YouTube



LINE



一般社団法人 日本社会人団体馬術連盟

〒104-0033

東京都中央区新川2-6-16-405 馬事畜産会館4階

TEL: 03-3297-5630 FAX: 03-3297-5636

Homepage: <https://www.jbg.jp/>

E-mail: shabaren@jbg.jp

【加盟団体】伊藤忠商事(株)相互会乗馬部/梅村建工(株)馬術部/クリエイティブテクノロジー乗馬愛好部/警視庁馬術クラブ/皇宮警察本部/(学)昭和医科大学ライディングチーム/JR東日本馬術クラブ/衆議院乗馬会/ソニー馬術部/SOMPOホールディングス馬術部/都庁・特別区乗馬部/TOPPANエッジ(株)馬術部/日本アイ・ビー・エム(株)馬術部/パナソニック(株)馬術部/パナソニックシステムネットワークス(株)馬術部/富士通(株)馬術部/三井物産(株)乗馬部/レックス工業(株)馬術部/青波馬術愛好会/オリックス乗馬部/グーグル馬術部/中部国際空港馬術部/TMG乗馬同好会/日本航空馬術部/日本知的財産協会馬術部/(株)日本電気保安協会馬術部/(株)日本馬事普及馬事研究部/防衛省乗馬同好会/(株)三菱総合研究所馬術部/山田コンサルティンググループ乗馬同好会/LINEヤフー乗馬部/新潟市馬術協会社会人愛馬会

(2025年11月1日 現在)

日本社会人団体馬術連盟について

一般社団法人 日本社会人団体馬術連盟は、企業や官公庁の馬術部が加盟する馬術連盟です。公益社団法人 日本馬術連盟の組成団体の1つとして、馬事の振興やスポーツ馬術の普及、馬を通じた社会貢献などを目的として活動しています。全日本社会人馬術選手権大会や全日本実業団障害馬術大会、日韓社会人親善馬術大会、キャロットステークスなどの競技会、講習会、ボランティア活動などを開催しています。加盟団体の部員は、学生馬術出身の方や社会人になってから乗馬・馬術を始めた方など多様なバックグラウンドの方が所属しています。

■ 学生馬術部と社会人馬術部の大きな違いは？

ほとんどの社会人馬術部では、馬場・厩舎を持っています。乗馬クラブに法人・個人で契約して練習します。そのため、日々の飼い付け、厩舎作業、運動などはありません。社馬連競技会の多くは貸与馬戦のため馬術部としての馬運作業などはありません。(会社・個人によって異なる場合もあります)

■ 就職活動中ですが、企業・官公庁で馬術採用はありますか？

ほとんどの企業で馬術採用はありません。専門職・技官などで馬術採用枠がある企業もあります。加盟企業の馬術部員がOB訪問の窓口となったり、アドバイスすることは可能な場合があります。無理に馬術部のある企業を目指す必要はありません。まず、自分がやりたいと思う企業・職業を目指すことが大事です。日本社会人団体馬術連盟の加盟企業は選択肢の一つと考えましょう。入社した会社に馬術部がなかったら自分で作るという選択肢もあります。

■ 就職試験で馬術は役に立つ？

面接などで、馬術部でのリーダーシップや問題解決能力などを、工夫した点や頑張った点を、事例と共にアピールすると効果的と思われます。馬術を通じた社会貢献活動(体験乗馬会の普及活動や障害者乗馬サポート、ボランティア活動)などをアピールするなどもあります。採用では、大学名や成績だけではなく、人間性やコミュニケーション能力、積極性、問題解決力、管理能力、責任感、チームワークなど幅広い視点から採用を決めることが多いです。

■ 仕事とのバランスは？サンデーライダーでもOK？

自分で無理のないよう仕事・馬・プライベート等のバランスをとる必要があります。入社から3,4年目くらいまでは仕事で忙しくなってしまうことが多いです。自分のペースで仕事を進めるようになってから馬を再開するのもアリです。多くの人が週末ライダーです。週に1回でも、継続して乗り続けるのが大事ですね。

■ 学生時代、レギュラーじゃないけど、OK？

OKです！社会人から馬術・乗馬を始める人もたくさんいます。騎乗能力で入部制限などはありません。幹事や企画・運営好きな人も大歓迎です！

■ 会社に馬術部があったら

とても恵まれています！ぜひ馬術部に入部しましょう！会社馬術部も先輩やOB/OGの方々が立ち上げ、引継ぎ、運営してきたものです。補助・恩恵を受けるだけでなく、積極的に運営を手伝い、社内でもアピールして、協力して部を盛り上げ、将来へ繋げていきましょう！Pay Forwardの精神で！

■ 会社の馬術部の方にOB訪問できますか？

各企業で対応は異なりますが、学生のOB訪問を受け入れている企業がほとんどです。OBの方が分からない場合、社馬連が仲介して、会社馬術部の方を紹介することも可能です。

OB訪問先紹介できます

■ 先輩や上下関係が厳しい？

各会社の風土にもよりますが、先輩上司部下というよりは馬仲間という関係が強いです。近年は企業としてパワハラ・セクハラ・コンプライアンス違反などには厳しく対処します。企業馬術部も同様です。

■ 会社からの補助はある？

補助のない会社が多いですが、乗馬クラブの法人会員になっていたり、騎乗料や試合の補助が出る企業もあります。馬術部の意義として、自分たちが楽しむだけではなく、スポーツを通じた社会貢献などをアピールすると会社からのサポートを受けやすいでしょう。

■ 入社と同時に馬術部に入る必要がある？

同時である必要はありません。ご自分の好きなタイミングで入部できます。中途入社でもOKです。産休・育休を挟んでもOKです。

■ 学生騎乗資格(SA級など)を移行できますか？

社馬連騎乗資格への移行が可能です。手続きは入社して馬術部に入ったタイミングで行います。日馬連・全乗振資格などからも移行できます。

■ 会社の馬術部の馬場がある？毎日の厩舎作業などが必要？

会社の馬場・馬を持っている会社馬術部はほとんどありません。馬がないので、厩舎作業などはありません。練習は乗馬倶楽部へ行きます。競技会では、お借りした馬の馬装、手入れ、退厩作業などは、社会人の選手が行います。



卒業後も馬術を
続ける方法の1つに
会社の馬術部 &
社馬連があります



■ 会社馬術部の日頃の練習とかはどうしていますか？

各馬術部で異なります。乗馬クラブの法人会員になって週末などに定期的に練習している馬術部や、普段は個人で練習し、時々合同練習や合宿を行っている馬術部もあります。自分たちの馬場と馬を持つ大学馬術部とは異なり、朝、厩舎作業と練習をして会社へ行く、会社が終わってから練習に行くという形ではなく、週末に乗馬クラブへ練習に行くという形が多いです。

■ 会社の馬術部には何歳まで所属できる？

各企業の規定によりますが、一般には退職するまで所属できます。馬術部OB会などがある企業もあります。

■ 競技会の出場料はいくらくらい？馬匹代などは？

エントリー料は一鞍8,000～39,000円です(2025年度、大会・競技によって異なります)。エントリー料は馬匹代(借馬料や馬輸送費用等)込みです。各乗馬クラブのご協力のもと、各加盟団体が役員を派遣して運営するため、乗馬クラブなどから自馬で出場する場合より非常に安価です。

■ 日本社会人団体馬術連盟の運営・競技会の運営は？

各加盟団体から派遣された人が理事・委員・大会役員となり、競技会やイベントを企画・運営します(加盟団体の責務でもあります)。

■ 社馬連 加盟団体の間での交流はある？

競技会・講習会後に懇親会やバーベキュー、外乗会、忘年会などがあります。合同練習会をしている団体もあります。大井競馬場で忘年会とかも。

■ 社馬連割引とかある？

社馬連騎乗者登録をすると、乗馬クラブの入会金や会費、騎乗料の割引、馬具屋さんの割引などがあります。

■ 日本社会人団体馬術連盟で馬を持っている？

持っていません。社馬連の競技は貸与馬戦です。乗馬クラブ・大学・高校などから、馬をお借りして競技を行います。

■ どのようなところから馬を借りていますか？

中島トニアシュアール、壬生乗馬クラブ、八王子乗馬倶楽部、フジホースライディングクラブ、秦野国際乗馬クラブ、慶応義塾大学、早稲田大学など

■ 会社に馬術部を作るには？

会社で馬を持ったり、馬場を持っている必要はありません。必要なのは馬に興味がある人(仲間)です。すでに会社にテニス部など部活動がある場合、その部の人に聞いてみましょう。人事や福利厚生などの部署へ会社の規定などについて確認してみましょう。部員の範囲(子会社もOKとか)、部員募集、社内外活動範囲、会社補助の有無、会社公認の可否など。社馬連がお手伝いできる場合もありますので、お気軽にご相談ください。まずは馬術部を始め、少しずつ仲間を増やしてチームワークを高めていきましょう。

■ 社馬連に入会したいのですが？

社馬連事務局 shabaren@jbg.jp までメールか、社馬連ブースにいる担当者までお声掛けください。すぐご案内します！



この他、質問等は社馬連事務局 shabaren@jbg.jp までメールか、社馬連ブースの担当者までお気軽にどうぞ！